

訪ねてみたい宝の情景

～自然の宝庫・折爪岳～

楽しく美しい
まちづくり通信 86

折爪岳は、二戸市の自然を代表する宝であり、市民の心のよりどころです。
今回は、魅力あふれる夏の折爪岳周辺を紹介します。

多彩な植物

折爪岳には二十種類以上の高山植物が咲き誇り、季節ごとに山肌を彩ります。
里のサクラに遅れて咲く石割桜は、強風に耐えた木立が花を開き、足元に広がる愛らしい二

リンソウと微妙なコンストラストを醸し出します。
先月行われた折爪岳登山の際は、ヤマツツジが山頂付近を朱色に染め上げ、参加者の目を楽しませてくれました。これから迎える季節は、微妙に変色する青紫色のエゾアジサイが初夏の訪れを告げてくれます。

折爪岳の生き物たち

自然環境にも恵まれる折爪岳は、二ホンリスやミソサザイなどの小動物をはじめ、多様な生き物が生息し、にぎわいある環境がつけられています。



登山道のわきに咲くヤマツツジ

梅雨から初夏にかけて、小鳥の声をかき消すような「ギーギー」「ミヨーンミヨーン」と響くエゾハルゼミの大合唱が聞こえてきます。なかなか、その姿を見ることはできませんが、遊歩道から離れ、せみ時雨の中にじっと身を置きながら、美しく透き通ったその羽ばたきを見たいものです。

また、山頂付近のブナ林を中心に、東北有数の生息地ともいわれるヒメボタルが見られます。短



エゾアジサイ

い夏の夜をロマンチックに演出するホタルは、山頂を覆う風物詩の一つです。

80年がりの山開き

二戸市と軽米町、九戸村にまたがる県立自然公園折爪岳（八五二㍎）の山開きが六月一日、行われました。山開きの開催は八年ぶりです。

山居権現前では、小原豊明市長や山崎七郎軽米町助役、岩部茂九戸村長ら関係者約三十人が出席して安全祈願祭を行い、山の無事故を祈りました。山の家前では、三市町村の団体が郷土芸能を披露。郷土料理を売る店も多く出ました。
同日には九戸村コロポックル



山の家前で披露された郷土芸能「坂本七ツ物」

ランドから山の家までの約五キロを走る登山マラソン大会や、天ヶ塚林間コースの登山なども行われ、たくさんの人でにぎわいました。

折爪岳は地域皆さまの協力もあり、新たな登山コースが整備されつつあります。
いにしえより「知者は水を樂しみ、仁者は山を樂しむ」といいます。
天ヶ塚に代表されるカツラの巨木と、南部曲がり家の情景に触れ、悠揚として迫ることなく遠くに望む山並みを目標に登れば、おらかな山の懐に抱かれる親しみと安らかさを感じることもできます。
宝とともにこの街に暮らす者にだけ許された至福の瞬間かもしれません。